

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 1 教科・領域 音楽 単元・題材等 いいおとをみつけてあそぼう（鍵盤ハーモニカ）

単元・題材等の目標 音や響きの違いに気付いたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつ。階名で模唱や暗唱をしたり、これをもとに楽器で演奏したりする。

○活用できる人材と内容等

楽器メーカーの指導員など

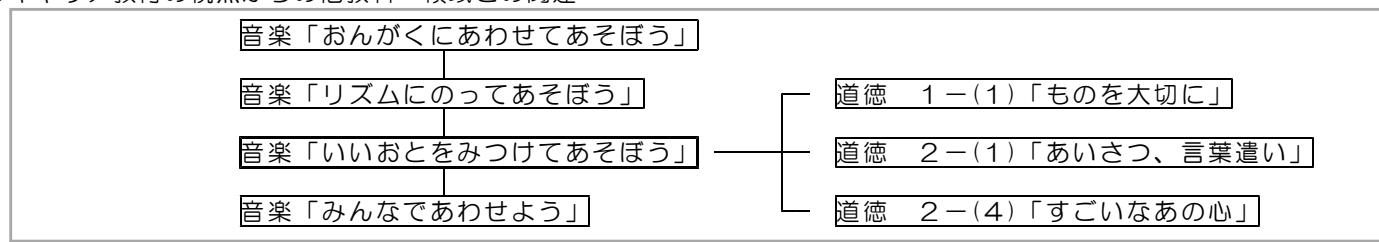
*来校してもらい、鍵盤ハーモニカの音の出し方、演奏のしかたを教えてください。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

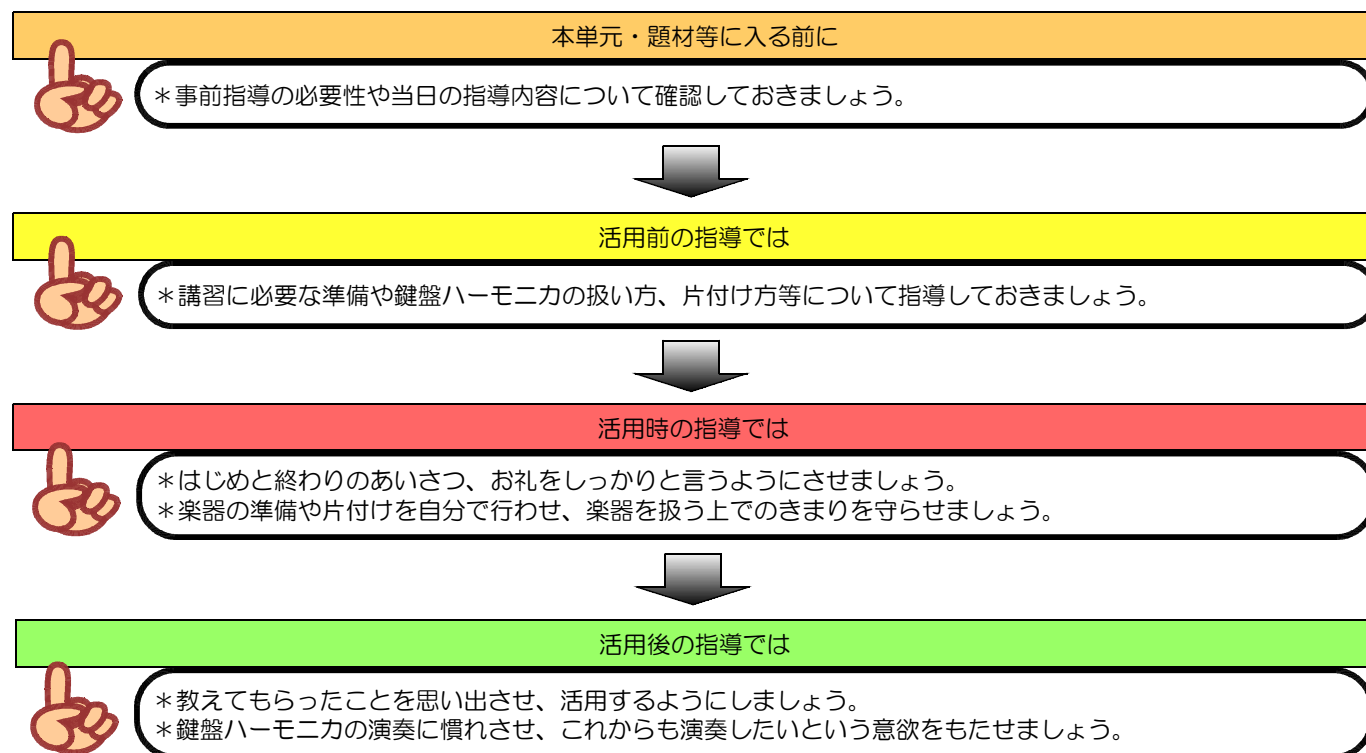
*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・鍵盤ハーモニカの基本的な奏法を教えてくださいに感謝する。【**自他の理解能力**】
- ・鍵盤ハーモニカの基本的な奏法を教えてくださいにあいさつや返事をし、お礼を言う。【**コミュニケーション能力**】
- ・鍵盤ハーモニカを教えてくださいに人が分かる、興味・関心をもつ。【**情報収集・探索能力**】
- ・鍵盤ハーモニカを練習する時間や学習のきまりを守ろうとする。【**計画実行能力**】
- ・楽器の準備や片付けなど、自分のことは自分で行おうとする。【**課題解決能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

学習活動	指導上の配慮事項
<p>●鍵盤ハーモニカの基本的な扱い方を知る。【課題解決能力】</p> <p>鍵盤ハーモニカの準備のしかたは分かりました。早く吹いてみたいな。</p>	<p>○鍵盤ハーモニカの準備のしかた、扱い方、片付け方などについて指導しておく。</p> <p>○次時は、専門の先生が来校し、鍵盤ハーモニカの音の出し方等について学習することを伝える。</p>

評価の観点 ・鍵盤ハーモニカの基本的な取り扱いができる。

活用時の指導
<p>①鍵盤ハーモニカの音の出し方を知ろう（鍵盤ハーモニカ講習）</p> <p>◆鍵盤ハーモニカの音の出し方を覚えて、音色に親しむ。</p>

学習活動	指導上の配慮事項
<p>●はじめのあいさつをする。【コミュニケーション能力】</p> <p>●鍵盤ハーモニカを扱う上での注意事項や約束などについて知る。【計画実行能力】 【課題解決能力】</p> <p>●鍵盤ハーモニカの音の出し方について知る。【情報収集・探索能力】</p> <p>こういう吹き方をすれば、講師の先生みたいなきれいな音が出るんだ。</p> <p>●鍵盤ハーモニカで、歌に続けてリズム奏や音づくりをして楽しむ。</p> <p>●感想を述べ、終わりのあいさつをする。【自他の理解能力】 【コミュニケーション能力】</p> <p>今日はありがとうございました。これからも練習して、もっと上手になりたいと思います。</p>	<p>○来校された人を紹介し、あいさつをさせる。</p> <p>○注意事項や約束事が分かったか確認する。</p> <p>*以降の活動は、来校された人が中心となり進めていくものと思われる。</p> <p>○必要に応じて、個別指導・支援を行う。</p> <p>講師の先生が言ったことに注意して吹いてみてね。</p> <p>しっかりとした音が出るようになったね。</p> <p>○簡単に感想を述べさせ、お礼のあいさつをさせる。</p>

評価の観点 ・講習により、鍵盤ハーモニカの音の出し方が分かる。
・来校された人に感想やお礼が言え、鍵盤ハーモニカ学習のきまりが守れる。

活用後の指導
<p>②鍵盤ハーモニカを演奏しよう</p> <p>◆楽器の音色の違いに気を付けて聴いたり、鍵盤ハーモニカを演奏することに慣れたりする。</p> <p>③きれいな音の出し方を工夫しよう</p> <p>◆旋律を階名模唱したり、きれいな音の出し方を工夫して鍵盤ハーモニカで演奏したりする。</p>

学習活動	指導上の配慮事項
<p>●様子を思い浮かべ、いろいろな楽器の音色の違いを感じ取りながら音楽を聴く。</p> <p>●拍の流れに乗って、ふし遊びをする。</p> <p>●曲の感じをつかみ、旋律を階名模唱したり、楽器で演奏したりすることに慣れる。</p> <p>だんだんと慣れてきて上手になってきたよ。</p> <p>●歌と楽器を合わせて演奏したり、ふしの終わりを入れ替えたりして楽しむ。</p>	<p>○いろいろな楽器の音色の違いに気付かせるようにする。</p> <p>○前時に学習した鍵盤ハーモニカの音の出し方やリズム奏のやり方について思い出させ練習をさせる。</p> <p>吹くときに大切なことはどんなことだった？</p> <p>○個人練習の時間やグループでの練習を取り入れながら、個別指導を行う。</p> <p>○何人かずつで演奏させたり、全員で演奏させたりなど、形態を工夫しながら演奏に慣れさせる。</p>

評価の観点 ・鍵盤ハーモニカを演奏することに慣れ、演奏しようという意欲をもつ。
・講習での学習を思い出し、きれいな音の出し方が工夫できる。